

平成25年度  
自己点検・評価報告書

西日本工業大学

## 目 次

---

○ 平成 25 年度自己点検・評価結果の報告について	1
○ 資料 1 「平成 25 年度管理運営自己評価委員会点検・評価項目」	5
○ 資料 2 「平成 25 年度自己点検評価による教育等改善実施状況」	12
○ 資料 3 「平成 25 年度自己点検・評価結果 (日本高等教育評価機構の基準による点検・評価)」	14
○ 資料 4 「平成 25 年度管理運営自己評価委員会 P T 報告書」	17
○ 資料 5 「管理運営自己評価委員会ホームページ点検・評価結果」	20
○ 資料 6 「平成 25 年度管理運営自己評価委員会 P T 報告書」	21
○ 資料 7 「学生生活に関するアンケート 2 0 1 3 調査結果 (抜粋)」	23
○ 資料 8 「学生満足度調査結果報告資料 (抜粋)」	27
○ 資料 9 「学習実態アンケート 2 0 1 3 調査結果 (抜粋)」	35

# 平成 25 年度自己点検・評価結果の報告について

## 1. 自己点検・評価について

### (1) 日本高等教育評価機構の評価基準による点検評価について

平成 25 年度の自己点検・評価活動については、本年度から加入した日本高等教育評価機構（以下「評価機構」という。）の評価基準を基に、自己評価総括委員会が中心となって点検・評価を実施することを自己評価総括委員会で策定のうえ実施した。具体的な実施方法としては、自己評価総括委員会の各委員が各基準の責任者を務め、関連部署及び委員会等と連携して点検・評価を実施するとともに、平成 26 年度自己点検評価書を編纂した。

#### 【評価基準と責任者】

##### 総 括

学長 菊池 重昭、副学長 工学研究科長 西尾 一政

##### 基準 1（使命・目的等）

学部・学科点検委員会委員長 副学長 平井 敬二

##### 基準 2（学修と教授）

教育活動点検委員会委員長 教務部長 大木 正彦

学生活動点検委員会委員長 学生部長 竹田 吉紹

##### 基準 3（経営・管理と財務）

法人本部長 田原 稔

##### 基準 4（自己点検・評価）

自己点検評価委員会委員長 教職教養センター長 河野 雅也

##### 基準 A（地域貢献）

大学院・研究活動点検委員会委員長 研究センター長 坂田 豊

##### 基準 A（国際交流）

国際教育センター長 野崎 伸一

また、管理運営自己評価委員会が中心となり、平成 25 年 5 月 1 日現在のデータで評価機構の様式による「エビデンス集データ編」を作成し、学内ネットワークに登録のうえ、教職員の閲覧に供した。

※データ編の作成については、平成 18 年度から大学基準協会の大学基礎データとして、また平成 24 年度からは日本高等教育評価機構のエビデンス集データ編として毎年 5 月 1 日現在のデータで作成し、自己点検・評価活動に活用している。

### (2) 学生配布資料と本学ホームページの点検・評価について

管理運営自己評価委員会で、本年度の点検評価項目として「学生配布資料の点検」と、

「本学ホームページの点検・評価」を定め、点検・評価を実施した。

「学生配布資料の点検」については、各課・室からメンバーを選出し、プロジェクトチームを編成のうえ、新入生に配布する「学生便覧」や「学生生活のしおり」を中心に点検・評価を実施した。

また、「本学ホームページの点検・評価」については、ホームページに掲載されている情報を俯瞰的に点検するとともに、専門的なページについては担当課・室で分担し、更新状況や掲載情報の点検・評価を実施した。【資料 1「平成 25 年度管理運営自己評価委員会点検・評価項目」】

### (3) 各種アンケート調査の実施について

平成 25 年度は教育活動点検委員会で毎年、前・後期に実施している「学生の授業評価アンケート」に加え、学生生活点検委員会による「学生生活に関するアンケート」、FD委員会による「学習実態アンケート」、就職指導委員会による「就職アンケート」及び改革検討委員会による「学生の満足度調査」を実施した。

### (4) 平成 25 年度重点目標自己申告について

重点目標自己申告については、学長が策定する大学重点目標を踏まえ、教育職員は各所属学科の重点目標も踏まえたうえで、教育・指導活動、研究活動、学内業務、社会活動における目標を設定し、事務職員については自己啓発、業務の改善・工夫、組織的な取り組み等について目標を設定する。目標設定時には、教職員共に各所属長との面接を実施しており、10 月に中間報告と第 2 回の各所属長との面接を実施し、目標に向けての達成度と進捗管理を行っている。また、翌年 4 月には最終成果報告を各所属長を経て学長に提出し、学長が総評を行うこととしている。

本学では、この重点目標自己申告制度を教職員個々の目標管理は基より、自己点検・評価活動の一環と位置づけ、毎年実施している。

## 2. 評価結果について

### (1) 日本高等教育評価機構の評価基準による点検評価について

上述のとおり、自己評価総括委員会が中心となり、評価機構の基準に基づき自己点検評価を実施した結果、改善すべき事項が判明した場合は、当該事項を担当する委員会等で逐次検証し、改善の提案を運営会議（教授会）で機関決定のうえ、本年度内の改善を実施した。その改善結果については別紙【資料 2「平成 25 年度自己点検評価による教育等改善実施状況」】のとおりである。

なお、平成 25 年度の自己点検・評価活動とその改善（フィードバック）により、評価機構の各基準における本学の自己判定は全てにおいて「基準を満たす」ことができた。

【資料 3「平成 25 年度自己点検・評価結果（日本高等教育評価機構の基準による点検・評価）」】

また、平成 25 年度の点検評価結果をもとに、平成 26 年度自己点検評価書を編纂し、

平成 26 年度大学機関別認証評価の評価書として提出すると共に、ホームページでの公表も予定している。

## (2) 学生配布資料と本学ホームページの点検・評価について

### ① 学生配布資料の点検について

管理運営自己評価委員会の下にプロジェクトチーム「以下「PT」という。」を編成し、「学生便覧」及び「学生生活のしおり」を中心とした学生配布資料の点検・評価と、学生が日頃から携帯し、緊急時等で活用できる「学生ハンドブック」の制作について集中的に検討を行った。「学生便覧」及び「学生生活のしおり」については、学生の利便性を鑑み、合冊する方向で、引き続き検討することとした。また、「学生ハンドブック」については紙媒体ではなく、スマートフォン等携帯端末から閲覧できる電子媒体とし、平成 26 年度に計画している本学のウェブ管理システムの更新に合わせて電子版「学生ハンドブック」の導入を計画している。

また、学生配布資料にとどまらず、大学のロゴやシンボルマークの使用に関する学内基準の制定や、名刺、封筒などの印刷部の統一など所謂 UI (University Identity) についても、本学デザイン学部とも連携を取りながら引き続き PT で検討することとしている。【資料 4「管理運営自己評価委員会 PT 報告書」】

### ② 本学ホームページの点検・評価について

ホームページについては、各課・室で全体及び当該課・室に関連するページの点検・評価を実施した結果、重大な欠陥や不足した情報公表データ等は報告されなかった。

しかし、別紙【資料 5「ホームページ点検・評価結果」】のとおりホームページ上で公表している規程等の PDF ファイルが更新されていないことや、現状に即していない組織名や画像があるとの報告が散見された。

簡易的なデータ修正については、随時更新を実施した。また、教員紹介ページの様式の統一については、平成 26 年 1 月末を目処に改善を実施した。

なお、ホームページのデータについては、常に最新の情報を公表する必要があり、今後は各課・室で管轄するページを定期的に点検し、更新されていない情報については速やかに更新するよう改善することと、ステークホルダーである学生や保護者及び学外者が「知りたい情報を直ぐに閲覧できる」ことなど、利便性の向上を図る必要がある。今後は学生や学外者等からの客観的な点検・評価も検討する。【資料 6「管理運営自己評価委員会報告書」】

## (3) 各種アンケート調査の実施について

本年度は、学生活動点検委員会による全学生を対象とした「学生生活アンケート」を実施した。結果については、変化が顕著な項目として、「友人について」で友人数が増加傾向であること、「生活費について」で仕送り額の減少や奨学金受給者が増加していること、「通学について」で自転車・バイク・車が減少し、JR 等の公共交通機関での通学が増加していること、「住まいについて」でアパートの間取り数の減少や家賃額が減

少傾向にあり、学生生活にかかる費用が前回調査に比べ、全体的に減少傾向にあることである。(前回よりも自宅通学者が増加していることも反映している。)

今後は学生生活アンケートで得られたデータを分析し、学生生活の支援に活用できるよう計画している。【資料7「学生生活に関するアンケート2013調査結果(抜粋)」】

平成22年度より学長の諮問機関である改革検討委員会が実施している「学生満足度調査」では、この4年間の経年比較で、デザイン学部の授業及び教員に対する満足度が工学部の水準まで改善され、その結果、デザイン学部の全体的な満足度が好転していることが判った。なお、「学生満足度調査」については改革検討委員会から、平成26年度より整備が計画されている教育評価室に継承する方向で検討している。【資料8「学生満足度調査結果報告資料(抜粋)」】

また、今年度はFD委員会による「第1回学習実態アンケート調査」を実施した。このアンケートは、「学生生活に関するアンケート」に併設して実施したが、今後も引き続き実施し、経年比較等で学生の学習時間の実態や、教員の学習指導に対する評価を検証する計画である。【資料9「学習実態アンケート2013調査結果(抜粋)」】

### 3. 総評

平成25年度の自己点検・評価活動は、自己評価総括委員会が中心となり評価機構の基準による自己点検・評価活動を大きな柱とし、併せて各種アンケートの実施による点検・評価活動と、管理運営自己評価委員会による学生配布物及びホームページの情報等の点検・評価活動を実施した。

評価機構の基準による自己点検・評価については、問題点を逐次改善することにより、各基準を満たすことが達成され、本学の教育や大学運営の改革、改善に繋がったことは大きな成果である。また、各種アンケートについては、学生の指導や支援、また教育研究環境の改善等に最大限フィードバックできるよう、調査・分析を進める計画である。管理運営自己評価委員会のPTについては、平成26年度以降も若手事務職員を構成員として、引き続き点検評価活動を進める計画である。

なお、本学は平成26年度に評価機構による大学機関別認証評価を受診する予定であるが、不断の自己点検・評価活動と併せて、本学の真の教育改革・改善に繋がるよう、全学をあげて真摯に取り組む所存である。

平成26年3月31日

自己評価総括委員会委員長(学長) 菊池重昭

## 平成 25 年度管理運営自己評価委員会点検・評価項目（案）

### 1. 学生配布資料の点検とハンドブックの作成

#### (1) 背景

現在、学生に配布している学生便覧、学生生活のしおり等の内容を検証すると共に、災害時や実験中の事故など危機管理に対応した内容も付加した学生対象用ガイドブックの制作等を検討する。

#### (2) 点検の単位及び責任者

点検は学長室事務部長が責任者となり、各課・室からメンバーを選出し、プロジェクトチーム（P T）で実施する。

#### (3) 実施方法

- ・ P T で、学生対象用の印刷物の検証を行う。併せて学生ハンドブック制作の検討を行う。
- ・ 検証、検討結果については、管理運営自己評価委員会に報告する。
- ・ 管理運営自己評価委員会の報告を受け、該当する課室は、次年度の学生対象用の印刷物の見直し及びハンドブックの作成を進める。

#### (4) 実施期間

- |                       |         |
|-----------------------|---------|
| ・ 学生便覧、学生生活のしおり等の内容検証 | 9 月末まで  |
| ・ ハンドブックの原案作成         | 12 月末まで |
| ・ ハンドブックの完成           | 2 月末まで  |

### 2. 本学ホームページの点検・評価

#### (1) 背景

現在、大学の P R や情報公表は主にホームページを媒体として行うことが通常であり、その情報は全世界のブラウザから閲覧が可能であり、大学の理念や組織体制及び運営等の根拠資料としても利用されるなど極めて重要な情報源である。

また、本学は平成 26 年度に大学認証評価を受審予定であるが、ホームページの情報は、受審の際の重要なエビデンスとして活用することが想定され、掲載されている項目及び内容の点検、整備は急務である。

#### (2) 点検の単位及び責任者

点検は各課室長が責任者となり、課室単位で実施。

#### (3) 実施方法

- ・ 現在、ホームページに掲載されている情報を俯瞰的に点検する。

- ・「ホームページ点検項目チェックリスト」を基に、当該課室が主管する部分及び関係するページについて、課室により点検し、問題点や情報の不足部分等を抽出する。
- ・抽出した問題点等を報告書（箇条書き）にまとめ、管理自己評価運営委員会に提出する。
- ・なお、更新されていない情報や、誤った情報が発覚した場合は、企画課と連携を取り、随時改善を図る。

(4) 作業期間

- ・情報の点検 9月17日（火）まで
- ・情報の改善 9月末まで

以上



# ホームページ点検項目チェックリスト

平成25年度 管理運営自己評価委員会

		総務部		学長室		学務部					法人	国際教育
		総務	施設	企画	入試	教務	学生	就職	図書	D事務	財務	
全体		○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○
トップページ		○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○
情報別 カテゴリ	大学案内			◎								
	学長挨拶	○		◎								
	沿革	◎										
	建学の精神	○		◎		○						
	学園倫理綱領										◎	
	大学紹介動画				◎							
	教育情報公表	○	○	◎		○	○	○	○	○	○	○
	組織図	◎										
	事業計画	○		○							◎	
	決算・事業報告			○							◎	
	研究活動に関する不正防止体制			◎								
	自己点検・評価	◎		○								
	大学評価結果及び認証評価結果	◎		○								
	学則 / 大学院学則	◎										
	設置届出書・履行状況報告書	○		◎								
	コンプライアンスについて	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○
	ハラスメント防止について	◎					◎					
	個人情報の保護について	◎		○	○	○	◎	○	○	○	○	○
	安全保障輸出管理体制			◎								○
	一般事業主行動計画	○									◎	
大学案内(英語版)			○	◎								
お問い合わせ窓口	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
施設利用について		◎	○		○	○		○	○	◎		
地域に志向した大学宣言			◎									
西日本工業大学 学歌	○			◎		○						
学部・学科			○		◎							
工学部			○		◎							
デザイン学部			○		◎							
大学院工学研究科			○		◎							
教員の紹介	◎		◎		○							
進路							◎					
就職							◎					
就職関連ニュース							◎					
活躍するNIT生達							◎					
活躍するNIT生達 山西 俊二さん							◎					
活躍するNIT生達 近俊 佳予子さん							◎					
活躍するNIT生達 山村 陽平さん							◎					
活躍するNIT生達 小松 優大さん							◎					
学内単独企業セミナー情報							◎					
企業情報／求人情報検索操作手順							◎					
就職についての各種データ							◎					
主な就職・進学先							◎					
充実のバックアップ体制							◎					
インターンシップ(就業体験)							◎					

		総務部		学長室		学務部					法人	国際教育	
		総務	施設	企画	入試	教務	学生	就職	図書	D事務	財務		
入試情報	就職ナビゲート							◎					
	入試関連ニュース				◎	○					◎		
	入試関連ニュース				○	◎							
	平成25年度 特別入学試験				○	◎							
	特別奨学生制度(平成26年度)				○	◎							
	平成26年度 AO入試(ローリング)				○	◎							
	平成26年度 AO入試(O・C)				○	◎							
	平成26年度 デザイン奨学生				○	◎							
	平成26年度 ものづくり奨学生				○	◎							
	平成26年度 スポーツ奨学生				○	◎							
	平成26年度 推薦入試(指定校)				○	◎							
	平成26年度 推薦入試(奨学生選抜)				○	◎							
	平成26年度 一般推薦入試				○	◎							
	平成26年度 一般入試				○	◎							
	平成26年度 センター試験利用入試				○	◎							
大学入試センター試験過去問題				○	◎								
情報	図書館								◎				
別カテゴリー	キャンパスライフ	キャンパスニュース					◎						
		防犯ウェブページのご案内					◎						
		学生リアルLife密着			○		◎						
		掲載期間が終了しました											
		学生相談窓口					○	◎	○		○		○
		資格取得について					◎						
		施設・設備紹介	○	◎	○			○		○	○	○	○
		AEDの設置について				○		◎			◎		
		サークル紹介						◎			○		
		キャンパスカレンダー2013					◎	○			○		
		各種証明書の発行について					◎	◎	◎		○		○
		奨学金制度について				○	◎					◎	○
		学生生活のしおり(PDF版)	○	○			◎	◎	○	○	○		○
		平成25年度 時間割(PDF版)					◎						
国際交流・地域貢献	.お知らせ			◎									
	地域交流・公開講座について			◎									
	環境ESDプログラムについて			○		◎							
	産学連携の取り組みについて(一覧)			◎									
	地域連携の取り組みについて(一覧)			◎									
	国際交流協定校について(一覧)			○								◎	
	大学間連携について(一覧)			◎									
	「わくわく科学教室」をお届けします!			◎			○						
	施設利用について		◎	○						○	◎		
	NIT 新聞報道 2013			◎	○								
北九州[en]プロジェクト			○						◎				
豆	学部・学科・大学院の詳細へ					◎							
	学長挨拶	○		◎									
	サークル紹介						◎			○			

		総務部		学長室		学務部					法人	国際教育	
		総務	施設	企画	入試	教務	学生	就職	図書	D事務	財務		
対象者別カテゴリ	受験生の方へ	アクセス	○	○	◎								
		小倉キャンパス		○							◎		
		キャンパスカレンダー					◎	◎					
		キャンパスライフ						◎			○		
		進路・就職							◎		○		○
		入試情報				○	◎						
	高校教員の方へ	学部・大学院詳細へ					◎						
		学長挨拶	○		◎								
		アクセス	○	○	◎								
		小倉キャンパス		○							◎		
		キャンパスカレンダー					◎	◎					
		キャンパスライフ						◎			○		
		進路・就職							◎				
	卒業生の方へ	入試情報				○	◎						
		各種証明書の発行について					◎	◎	◎		○		○
		同窓会・美夜古会のウェブページをご覧	◎		○								
		インターネットからのお問い合わせ	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		お問い合わせ窓口一覧	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○
		お知らせ一覧			◎								
		学長挨拶	○		◎								
		アクセス	○	○	◎								
		小倉キャンパス		○							◎		
		キャンパスカレンダー					◎	◎					
		大学案内	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○
		キャンパスライフ						◎					
	進路・就職							◎					
	在学の方へ	学外メール					◎						
		学内メール					◎						
		WEBシラバス					◎						
		西日本工業大学アルバイト紹介システム						◎					
		「学生便覧」をダウンロードする。					◎	○					
		「時間割」をダウンロードする。					◎				○		
		「学生生活のしおり」をダウンロードする。					◎	◎			○		
「学生相談のしおり」をダウンロードする。							◎			○			
「小倉キャンパスマナーとルール」をダウ							◎			○			
キャンパスカレンダー						◎	◎						
証明書・各種手続について						◎	◎	◎		○		○	
奨学金制度					○	◎				○	◎		
サークル紹介							◎			○			
学生相談窓口						○	◎	○		○		○	
留学希望者の相談窓口							○			○		◎	
コンプライアンス窓口	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○		
就職登録票(就職担当の指示を受けた)							◎		○				
在学学生	求人情報(学内からしか閲覧できません)						◎		○				
学内単独企業セミナー情報について(在							◎		○				

		総務部		学長室		学務部					法人	国際教育	
		総務	施設	企画	入試	教務	学生	就職	図書	D事務	財務		
対象者別 カテゴリ	の方へ	キャンパスライフ					◎						
		学部・大学院					◎						
		資格取得					◎	○	○		○		
		進路・就職							◎		○	○	
		図書館								◎			
	保護者の方へ	入学金・授業料などの振込みにあたって					○				○	◎	○
		学費について				○	◎					◎	
		奨学金について				○	◎					◎	
		インターネットからのお問い合わせ	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		お問い合わせ窓口一覧	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○
		学長挨拶	○		◎								
		アクセス	○	○	◎								
		キャンパスカレンダー					◎	◎					
		キャンパスライフ						◎					
		進路・就職							◎		○		○
	入試情報				◎	○							
	企業の方へ	求人票(PDF)							◎		○		
		求人票(Excel)							◎		○		
		インターンシップ受入票(PDF)							◎		○		
インターンシップ受入票(Excel)								◎		○			
教育情報 公表	教育研究上の目的	学部・学科の目的			○	◎							
		総合システム工学科／機械工学系			○	◎							
		総合システム工学科／電気電子工学系			○	◎							
		総合システム工学科／情報システム系			○	◎							
		総合システム工学科／環境工学系			○	◎							
		デジタルエンジニアリング学科			○	◎							
		建築学科			○	◎							
		情報デザイン学科			○	◎							
	大学院工学研究科の目的			○	◎								
	組織基本	学部・学科・研究科の名称一覧	◎		○		○						
		学部・学科・研究科の名称	◎		○		○						
	教員情報	教員数(性別・職別・年齢構成・法令上)	◎										
		教員が有する学位及び研究業績	◎		◎								
教育の役割分担(役職者一覧)		◎											
教育の役割分担(会議・委員会運営組織)		◎											
学生情報	入学者に関する受入方針			○	○	◎							
	収容定員(編入学定員)	○				◎							
	入学生数・在籍学生数・編入生数・社会	○				◎							
	卒業又は修了した者の数	◎				○							
	進学者数及び就職者数その他進学及び							◎					
授業情報	総合システム工学科 機械工学系(教育課)					◎							
	総合システム工学科 電気電子工学系(教育課)					◎							
	総合システム工学科 情報システム系(教育課)					◎							
	総合システム工学科 環境建設系(教育課)					◎							
	デジタルエンジニアリング学科(教育課)					◎							

		総務部		学長室		学務部					法人	国際教育		
		総務	施設	企画	入試	教務	学生	就職	図書	D事務	財務			
教育情報 の公表	建築学科(教育課程表)	建築学科(教育課程表)					◎							
		情報デザイン学科(教育課程表)					◎							
		WEBシラバス(シラバス検索)					◎							
	修学評価	学修の成果に係る評価及び卒業又は修					◎							
		取得可能な学位に関する情報					◎							
		学生便覧					◎	○						
		学生生活のしおり					◎	◎			○			
	学習環境	キャンパスの概要(休息を行う環境やそ		◎				◎		○	○	○		
		運動施設の概要		◎				◎		○	○	○		
		課外活動の状況及びそのために用いる		◎				◎			○	○		
		主な交通手段等の状況	○	○	◎									
		校地・校舎面積		◎										
	授業料	授業料、入学金その他の大学が徴収す										◎		
		西日本工業大学独自の奨学金制度				○	◎					◎		
		学生寮等の宿舎に関する費用		◎				◎				◎		
	学生相談	学生の修学、進路選択及び心身の健康					○	◎	◎		○			◎
		学生便覧					◎	○						
		学生生活のしおり					◎	◎			○			
	社会貢献	国際交流協定校			○									◎
		社会貢献活動				◎								
大学間連携					◎									
産学官連携					◎									

## 平成25年度 自己点検評価による教育等改善実施状況

項目	審議会議体	決定会議体	決定内容	備考
1 学長を中心として教学マネジメント体制整備	10月学務研究協議会	10月運営会議	会議審議事項に「教育課程編成に関する方針」等を追加	学務研究協議会規則の改正
2 建学の精神の見直し	11月FD委員会	12月運営会議	本学のモットーである「人を育て技術を拓く」を基本理念と位置づけ、本学関係者の啓発をするため、理念集を策定を今後、計画する。	10月学務研究協議会にて学長より諮問
3 DP・CP・APの見直し	11月FD委員会	12月運営会議	以前検討されたDPを元に修正し、新たなポリシーを策定	11月学務研究協議会にて学長より諮問
4 教職員協働による学修・授業支援体制整備の検討	10月学務研究協議会他	1月運営会議	各委員会の構成員に職員を加える	学則・教授会規則他各種委員会規則他の一部改正
5 研究・地域貢献・国際交流の目的及びポリシーの制定	4月学務研究協議会他	4月運営会議	教育の目標、目的に加え、研究・地域貢献・国際交流の目的及びポリシーを検討のうえ制定	
6 全科目授業アンケートの実施	6月教務委員会	6月教務委員会	H25年度前期より、各教員1科目授業アンケートに加え、全科目簡易のアンケート実施	各教員が担当科目をまとめ報告
7 平成26年度授業科目のナンバリング	6～7月教務委員会	2月運営会議	科目番号を体系的なものに変更	学則の別表「教育課程表」の改正
8 教員養成に関する理念・ポリシー	4～7月教職教養C運営委員会	10月運営会議	本学の教員養成ポリシー及びDPを策定	4月学務研究協議会にて学長より諮問
9 シラバスガイドラインの改善	9月FD委員会 4月～10月教職教養C運営委員会	11月FD委員会 10月教職教養C運営委員会	授業外の学習方法の追加・訂正、教職科目の免許状に関わる情報の記載	
10 平成26年度シラバス第3者確認	9月FD委員会	11月FD委員会	各科目シラバスを学生による一次記入確認、二次教員相互による内容確認	教務委員会にて確認作業を実施
11 学生の学修時間の実態や学修行動の把握アンケートの実施	9月FD委員会	11月FD委員会	12月実施の「学生生活に関するアンケート」内で設問項目を設定し実施	翌年5月集計結果報告
12 オフィスアワーの設定	9月FD委員会	9月FD委員会	11月に教員出退システムに表示及び本学HPに掲載	
13 教員相互による授業参観実施	9月FD委員会	11月FD委員会	12月に各学科・系毎に教員1名による2つの授業参観実施	今後毎期実施確認 参観者アンケート実施
14 授業改善発表会(アクティブラーニング)	9月FD委員会	11月FD委員会	アクティブラーニング事例発表を3月の教職員研修会で実施(デザイン学部は既に導入済み)	工学部で初めて後期に実施されたアクティブラーニング授業の事例報告

項目	審議会議体	決定会議体	決定内容	備考
15 アクティブラーニング科目設定の検討	11月FD委員会	-	全学的にアクティブラーニング科目の設定を検討	継続審議
16 教養教育改革方針	7～10月教職教養C運営委員会	10月運営会議	教養教育理念・科目編成・専門接続・展開の方針を決定	
17 教養教育理念	7～12月教職教養C運営委員会	平成26年4月運営会議	教養教育の理念・目的・ポリシーの策定	
18 教養科目の編成(教養教育の種類・科目の種類)	7～3月教職教養C運営委員会	平成26年4月運営会議	大学の教養教育類型(初年次教育・キャリア教育等)、科目の種類(基礎スキル科目等)を定義	
19 教養科目の編成(科目の検討)	7～3月教職教養C運営委員会	-	具体的な科目の検討・見直し	
20 履修プログラムの策定	12月学務研究協議会	12月運営会議	地域社会に広く教育機会を提供するため、プログラムを策定する規則の策定	学則の改正及び履修証明プログラムに関する規則策定 3月に1つのプログラム認定
21 学生満足度調査の実施	12月学務研究協議会	12月学務研究協議会	1月にアンケート実施	年度初めに全教職員にメールにて報告予定
22 学生生活アンケートの実施	10～11月学生生活点検委員会	12月学生生活点検委員会	12月にアンケート実施	年度初めに自己評価総括委員会調査結果報告予定
23 学生の意見・要望への対応	学生大会で意見・要望を収集	11月学生委員会	学生会の代表学生と学生部との懇談会を実施し意見を集約。優先順位を検討し、おぼせキャンパスWiFiの充実、休講・補講情報のホームページ掲載、スポーツ設備整備等を実施。	
24 教育評価室の設置	-	-	平成26年度の教育評価室長を任命	新年度4月に新入生アンケート実施予定

## 平成25年度 自己点検・評価結果(日本高等教育評価機構の基準による点検・評価)

基準番号	基準項目	評価の視点	点検評価責任者・部署	自己判定
1-1	使命・目的及び教育目的の明確性	①意味・内容の具体性と明確性 ②簡潔な文章化	菊池学長 平井副学長 学長室	○
1-2	使命・目的及び教育目的の適切性	①個性・特色の明示 ②法令への適合 ③変化への対応	菊池学長 平井副学長 学長室	○
1-3	使命・目的及び教育目標の有効性	①役員、教職員の理解と支持 ②学内外への周知 ③中長期的な計画及び3つの方針等への使命・目的及び教育目的の反映 ④使命・目的及び教育目的と教育研究組織の構成との整合	菊池学長 平井副学長 学長室	○
2-1	学生の受入れ	①入学受入れの方針の明確化と周知 ②入学受入れの方針に沿った学生受入れ方法の工夫 ③入学定員に沿った適切な学生受入れ数の維持	大木教務部長 学務課	○
2-2	教育課程及び教授方法	①教育目的を踏まえた教育課程編成方針の明確化 ②教育課程編成方針に沿った教育課程の体系的編成及び教授方法の工夫・開発	大木教務部長 学務課	○
2-3	学修及び授業の支援	①教員と職員の協働並びにTA( Teaching Assistant)等の活用による学修支援及び授業支援の充実	大木教務部長 学務課	○
2-4	単位認定、卒業・修了認定等	①単位認定、進級及び卒業・修了認定等の基準の明確化とその厳正な適用	大木教務部長 学務課	○
2-5	キャリアガイダンス	①教育課程内外を通じての社会的・職業的自立に関する指導のための体制の整備	大木教務部長 竹田学生部長 学務課 就職課	○
2-6	教育目的の達成状況の評価とフィードバック	①教育目的の達成状況の点検・評価方法の工夫・開発 ②教育内容・方法及び学修指導等の改善へ向けての評価結果のフィードバック	大木教務部長 学務課	○
2-7	学生サービス	①学生生活の安定のための支援 ②学生生活全般に関する学生の意見・要望の把握と分析・検討結果の活用	竹田学生部長 学務課	○



平成25年度 自己点検・評価結果(日本高等教育評価機構の基準による点検・評価)

基準番号	基準項目	評価の視点	点検評価責任者・部署	自己判定
2-8	教員の配置・職能開発等	①教育目的及び教育課程に即した教育の確保と配置 ②教員の採用・昇任等、教員評価、研修、FDをはじめとする教員の資質・能力向上への取組み ③教養教育実施のための体制の整備	大木教務部長 河野教職教養センター長 総務課 学務課	○
2-9	教員環境の整備	①校地、校舎、設備、実習施設、図書館等の教育環境の整備と適切な運営・管理 ②授業を行う学生数の適正な管理	大木教務部長 竹田学生部長 施設管理課 学務課 図書課	○
3-1	経営の規律と誠実性	①経営の規律と誠実性の維持の表明 ②使命・目的の実現への継続的努力 ③学校教育法、私立学校法、大学設置基準をはじめとする大学の設置、運営に関連する法令の遵守 ④環境保全、人権、安全への配慮 ⑤教育情報・財務情報の公表	田原法人本部長 法人本部	○
3-2	理事会の機能	①使命・目的の達成に向けて戦略的意思決定ができる体制の整備とその機能性	田原法人本部長 法人本部	○
3-3	大学の意思決定の仕組み及び学長のリーダーシップ	①大学の意思決定組織の整備、権限と責任の明確性及びその機能性 ②大学の意思決定と業務執行における学長の適切なリーダーシップの発揮	菊池学長 学長室	○
3-4	コミュニケーションとガバナンス	①法人及び大学の各管理運営機関並びに各部門間のコミュニケーションによる意思決定の円滑化 ②法人及び大学の各管理運営機関の相互チェックによるガバナンスの機能性 ③リーダーシップとボトムアップのバランスのとれた運営	田原法人本部長 法人本部	○
3-5	業務執行体制の機能性	①権限の適切な分散と責任の明確化に配慮した組織編成及び職員の配置による業務の効果的な執行体制の確保 ②業務執行の管理体制の構築とその機能性 ③職員の資質・能力向上の機会の用意	田原法人本部長 法人本部	○
3-6	財務基盤と収支	①中長期的な計画に基づく適切な財務運営の確立 ②安定した財務基盤の確立と収支バランスの確保	田原法人本部長 法人本部 財務室	○
3-7	会計	①会計処理の適正な実施 ②会計監査の体制整備と厳正な実施	田原法人本部長 法人本部 財務室	○
4-1	自己点検・評価の適切性	①大学の使命・目的に即した自主的・自立的な自己点検・評価 ②自己点検・評価体制の適切性 ③自己点検・評価の周期等の適切性	河野教職教養センター長 総務課	○

平成25年度 自己点検・評価結果(日本高等教育評価機構の基準による点検・評価)

基準番号	基準項目	評価の視点	点検評価責任者・部署	自己判定
4-2	自己点検・評価の誠実性	①エビデンスに基づいた透明性の高い自己点検・評価 ②現状把握のための十分な調査・データの収集と分析 ③自己点検・評価の結果の学内共有と社会への公表	河野教職教養センター長 総務課	○
4-3	自己点検・評価の有効性	①自己点検・評価の結果の活用のためのPDCAサイクルの仕組みの確立と機能性	河野教職教養センター長 総務課	○
A-1	社会貢献	①地域社会との連携方針 ②個性ある多様な取組みの推進 ③学生の地域貢献活動に対する支援の充実 ④公開講座	坂田研究センター長 学長室	○
A-2	国際交流・連携	①留学生受入れプログラムの充実 ②留学生支援体制の充実 ③東アジア環境ESD教育の推進	野崎国際教育センター 国際教育センター事務室	○

平成 26 年 3 月 31 日

自己評価総括委員会

委員長（学長）菊 池 重 昭 殿

管理運営自己評価委員会

委員長 安 部 修 生 殿

管理運営自己評価委員会 P T

座長 塩 塚 祐 載

## 平成 25 年度自己点検・評価について（報告）

標記のことについて、管理運営自己評価委員会プロジェクトチーム（以下「P T」）で実施した「学生配布資料の点検とハンドブックの作成」の点検・評価活動について下記のとおり報告いたします。

### 1. 点検・評価項目

学生配布資料の点検とハンドブックの作成

#### (1) 背 景

現在、学生に配布している学生便覧、学生生活のしおり等の内容を検証すると共に、災害時や実験中の事故など危機管理に対応した内容も付加した学生対象用ガイドブックの制作等を検討する。

#### (2) 点検の単位及び責任者

点検は学長室事務部長が責任者となり、各課・室からメンバーを選出し、P Tで実施する。

#### (3) 実施方法

- ・ P Tで、学生対象用の印刷物の検証を行う。併せて学生ハンドブック制作の検討を行う。
- ・ 検証、検討結果については、管理運営自己評価委員会に報告する。
- ・ 管理運営自己評価委員会の報告を受け、該当する課室は、次年度の学生対象用の印刷物の見直し及びガイドブックの作成を進める。

### 2. 管理運営自己評価委員会 P Tでの点検状況

平成 25 年 8 月 5 日に開催された管理運営自己評価委員会での本年度点検・評価項目の決定を受け、各課・室から以下の P Tメンバーを選抜し、点検活動を実施した。

#### (1) 管理運営自己評価委員会 P Tメンバー

学長室 塩塚事務部長（座長）、総務課 松尾主査、施設管理課 衛藤主査、  
財務室 久米主事、企画広報課 武田主査・平野主事・後藤事務員  
学務課 藤井課長補佐・山口主事、就職課 室井主事、図書課 中田主事  
デザイン学部事務室 仕田原主査（以上 12 名）

※上記メンバーに学務課の井上課長補佐、国際教育センター事務室の山中主事を追加

## (2) 管理運営自己評価委員会 P T 開催実績

- 第 1 回管理運営自己評価委員会 P T 8 月 26 日 (月)
- 第 2 回管理運営自己評価委員会 P T 9 月 3 日 (火)
- 第 3 回管理運営自己評価委員会 P T 9 月 20 日 (月)
- 第 4 回管理運営自己評価委員会 P T 11 月 13 日 (水)
- 第 5 回管理運営自己評価委員会 P T 12 月 16 日 (月)
- 第 6 回管理運営自己評価委員会 P T 2 月 3 日 (月)
- 第 7 回管理運営自己評価委員会 P T 2 月 17 日 (月)

## (3) 検討結果について

今回の P T では、学生を対象に配布する印刷物の内、特に「学生便覧」及び「学生生活のしおり」の点検と、緊急時に学生が活用できるハンドブックの検討を主題として実施した。また、それ以外の学内印刷物についても意見交換を行った。

- ① 「学生便覧」及び「学生生活のしおり」の改善について点検・検討した結果、各メンバーから以下のことが提案された。
  - a. 現状を踏襲する。
  - b. 「学生便覧」と「学生生活のしおり」を合冊し、「学生便覧」とする。
  - c. 「学生生活のしおり」の一部を導入部分として学生便覧に付加し、他の部分は電子化する。
  - d. 「学生生活のしおり」は入学時のオリエンテーションで使用することが主なので、パワーポイントで作成のうえ学内で印刷し、学生便覧は現状どおりとする。

以上の意見を踏まえ検討した結果、d 案は学内での業務量の増加と、「学生生活のしおり」は宿泊オリエンテーション等でも使用することから、冊子体の方が良いとの担当課の意見から廃案となった。

残る 3 案について、各メンバーの意見及びその理由を聴取し検討した結果、b 案で制作することとし、制作は引き続き P T で行うこととした。なお、制作に当たっては現行の内容を精査し、他大学の学生便覧等も参考にしながら平成 27 年度の作成に向けて進めることとした。

## ② 学生ハンドブックの制作について

学生ハンドブックの制作については、学生が常日頃から携帯し、緊急時等に活用できるアイテムであることを課題として検討した結果、以下のとおり進めることとした。

- ・内容は、災害時や事件・事故等の緊急対応や連絡先、ハラスメント等の防止や相談窓口、安全衛生等の危機管理的な内容にまとめること。
- ・以前、同様の趣旨からコンパクトな形状の「学生サポートブック」を作成したが、学生が携帯しないことや予算の関係から、「学生生活のしおり」に統合した経緯があり、学生の所持率が高いスマートフォンなど携帯端末から閲覧できる「電子ハンドブック」の作成を検討すること。
- ・「電子ハンドブック」については、PDF ファイルで作成し、本学ホームページからダウンロードする方式で検討すること。(アプリ方式を採用した場合、携帯の OS の種類によって不具合が生じることや、通信によるパケット代が生じる。)

- ・平成 26 年度に本学のウェブシステムの更新を予定しており、タブレットやスマートフォンにも対応できることから、平成 26 年度の導入を目指して作業を進める。

### ③その他

- ・大学の封筒の見直しについて（現行の材質はインク等がにじみやすいので材質を見直す検討と、デザインの検討。）
- ・大学のロゴ等の統一について（印刷物に使用されているロゴ（N I T）の形状、色等が部署によってバラバラなので統一を図る。）
- ・名刺デザインの統一について（名刺のデザインが場合によっては各人でバラバラなので、本学のオフィシャルな名刺デザインの統一を図る。）
- ・ロゴや書体のルールやチェック体制について（ルールの策定やチェック体制の確立）

### 3. 評価及び今後の対応について

上述のとおり、引き続き P T で「学生便覧」及び電子版「学生ハンドブック」の検討並びに作成を進める。

また、大学の封筒の見直し及びロゴ等の取り扱いや統一については、デザイン学部の教員とも連携を取りながら進めていく。

以上

## 管理運営自己評価委員会 ホームページ点検・評価結果

部署	更新依頼内容	更新件数(重複あり)			進捗状況(更新日)	
		PDF	画像差替	入力変更 作業不要 新規作成		
総務課	組織図					
	国際教育センターを学務部所属に変更		1			
	個人情報管理管理者変更	1				
	コンプライアンス窓口	1				
	学生支援グループを学務課に変更					
	沿革			1	- 更新する場合は、便覧も更新	
	MDコース再編			1	- 今年度の実績なので更新不要?	
	教育情報公表					
	自己点検評価	1				
	規程更新					
	一般事業主行動計画					
	アセス	野球場			済	12月5日
	学長挨拶			1		googleマップ対応?、簡易マップ(PDF)作成検討
	学長挨拶	ポリシー更新	1			
	企画広報課	CM追加	1			
教育情報公表	ポリシー更新(工学部の系の順番)	1				
教育情報公表	基本組織(工学部の系の順番)	1				
教員情報	研究業績フォーマットの統一	1		1		
教員情報	研究業績に社会貢献を追加	1		1		
授業情報	DE学科を系に、順番変更	1				
施設・設備紹介	スポーツ施設の航空写真	1	1			
施設・設備紹介	校地・校舎面積の追加	1				
授業料	奨学金制度(離島制度を地域サポートと統合)	1				
修学、進路、健康支援	就職ナビゲートの教員氏名のスレ	1				
研究活動の不正防止	規則が古い	1			枠を削除予定	
教員紹介	フォーマットの統一	1		1	新規ID発行	
教員紹介	顔写真削除	1				
出前講義	内容の更新	1		1	本学で年度更新できる資料に差替え希望	
ハラスメント防止	規程更新	1				
個人情報保護	規程更新	1				
奨学金制度	画像の画質が荒い			1	PDFでは綺麗に見える	
センター試験過去問	画像の画質が荒い			1	外部リンク	
学生リアルLife	更新か削除を			1	企画広報課で検討	
学生窓口	アバート・下宿・アルバイト文章変更			1	情報提供待ち	
盗難紛失届	様式変更	1				
環境ESDプログラム	更新か削除を					
運動施設	画像が古い	1	1		PDF更新	
AEDの設置	おぼせキヤンパスが反映されていない		1			
学生寮等宿舍費用	画像が古い			1	- どの画像か不明	
学生の修学相談	画像が古い	1				
学生の修学相談	画像が古い	1				
就職ナビゲート	連絡先変更(学生課から学務課に)					
就職関連ニュース				1	担当教員(枠):表現修正	
就職各種データ				1	古いデータを非公開に	
奨学金制度				1	情報提供待ち	
地域交流・公開講座	留学生分を追加			1		
入試	留学生の活動を追加			1	国際教育センターのページを追加予定	
	第III期入試追加			1	12月2日	
計:		15	3	18	6	5

平成 26 年 1 月 6 日

自己評価総括委員会

委員長（学長） 菊 池 重 昭 殿

管理運営自己評価委員会

委員長 安 部 修 生

## 平成 25 年度自己点検・評価の実施について（報告）

標記のことについて、下記のとおり実施いたしますので、報告いたします。

### 1. 点検活動について

#### (1) 点検項目

「本学ホームページの点検」

#### (2) 点検目的

現在、大学の教育情報の公表や、その他大学の情報の提供は主にホームページを媒体として行うことが通常であり、その情報は全世界のブラウザから閲覧が可能である。また、大学の理念や組織体制及び運営等の根拠資料としても利用されるなど極めて重要な情報源であり、常に正確性を担保する必要がある。

なお、本学は平成 26 年度に大学認証評価を受審予定であるが、ホームページの情報は、受審の際の重要なエビデンスとして活用することが想定されており、掲載されている項目及び内容が現状に即しているかなどの点検、整備を実施する。

#### (3) 点検の単位及び責任者

点検は各課・室長が責任者となり、課・室単位で実施。

#### (4) 実施方法

- ・現在、ホームページに掲載されている情報を俯瞰的に点検する。
- ・「ホームページ点検項目チェックリスト」を基に、当該課・室が主管する部分及び関係するページについて課・室により点検し、問題点や情報の不足部分等を抽出する。
- ・抽出した問題点等を報告書（箇条書き）にまとめ、管理自己評価運営委員会に提出する。
- ・更新されていない情報や、誤った情報が発覚した場合は、企画広報課と連携を取り、随時改善を図る。

#### (5) 実施期間

- ・情報の点検 11 月 30 日（土）まで
- ・情報の修正 1 月 31 日（金）まで

### 2. 管理運営自己評価委員会での審議経過

#### (1) 第 1 回管理運営自己評価委員会（7 月 1 日）

平成 25 年度管理運営自己評価委員会点検・評価項目（案）を提案

#### (2) 第 2 回管理運営自己評価委員会（8 月 5 日）

平成 25 年度管理運営自己評価委員会点検・評価項目の承認と実施の決定

### 3. 点検結果について

各課・室で全体及び当該課・室に関連するページの点検・評価を実施した結果、重大な欠陥や不足した情報公表データ等は報告されなかった。

しかし、別紙「ホームページ点検・評価結果」のとおりホームページ上で公表している規程類等のPDFファイルが更新されていないことや、現状に即していない組織名や画像があるとの報告が散見された。

また、教員紹介ページの様式が統一されていないことの指摘があり、当該問題については予めから課題であったことから、早急に改善を図ることとした。

#### 【評価結果】

##### (1) データの更新

PDFデータの更新 15件、画像差し替え 3件、入力変更 18件

##### (2) 教員紹介ページの改善

- ・様式の統一
- ・顔写真の削除（個人情報保護の観点と、第三者の不正使用を防止のため）
- ・教員紹介データの確認及び教育研究業績の更新（各教員に依頼）

##### (3) 新規作成

- ・野球場のアクセス案内
- ・出前講義メニューの内容更新（平成 19 年度に作成されたリーフレットを掲載しており改善が急がれる。）

### 4. 評価及び今後の対応について

簡易的なデータ更新については、随時更新を実施している。また、教員紹介ページについては、平成 26 年 1 月末までに改善することを平成 25 年 12 月に開催された学務研究協議会で確認しており、教育研究業績の更新も併せて実施する予定である。

なお、ホームページのデータについては、常に最新の情報を公表する必要があり、今後は、各課・室で管轄するページを定期的（1 ヶ月に 1 回のペース等）に点検し、更新されていない情報については、企画広報課に連絡の上、速やかに更新するよう改善する必要がある。

また、今回は事務職員による点検・評価であったが、ステークホルダーである学生や保護者及び学外者が「知りたい情報を直ぐに閲覧できる」ことなど、利便性の向上を図る必要がある、今後は学生や学外者等からの客観的な評価も計画したい。

以上



## 学生生活に関するアンケート2013調査結果

西日本工業大学 学生活動点検委員会

平成26年5月

## 【 目 次 】

0. はじめに	1P
A-1,2 学年・学科	2P
A-3 性別	3P
A-4 出身地	4P
A-5 課外活動	5P
1-1 親しい友達（親友）の人数	6P
1-2 親友の属性	7P
1-3 親友の増減（入学前比較）	8P
1-4 今後、親友の数の増減の考え	9P
2-1A 生活上の悩みの相談相手（おばせキャンパス）	10P
2-1B 生活上の悩みの相談相手（小倉キャンパス）	12P
2-2 勉学等の悩み ガイダンス教員等に相談	14P
2-3 勉学等の悩み ガイダンス教員等に相談できにくい理由	16P
4-1 おばせCP図書館又は小倉CPメディアライブラリーの利用頻度	17P
4-2 おばせCP図書館又は小倉CPメディアライブラリーの利用目的	18P
4-3 図書館（又はメディアライブラリー）を利用しない理由	19P
5-1A 学内でくつろげる場所（おばせキャンパス）	20P
5-1B 学内でくつろげる場所（小倉キャンパス）	21P
5-2 自分自身のマナーの順守の考え	22P
5-3 学内でのマナー順守	23P
5-4A 既存生活施設設備の不足・不備なもの（おばせキャンパス）	24P
5-4A 既存生活施設設備の不足・不備なもの（小倉キャンパス）	26P
6-1 課外活動有無	28P
6-2 課外活動の目的・理由	29P
6-3 課外活動を辞めた理由	30P
6-4 課外活動の種類	31P
6-5 課外活動で困ること	32P
7-1 アルバイト有無	33P
7-2 アルバイト目的	34P
7-3a アルバイト時間帯	35P
7-3b アルバイト種類	37P
7-3c アルバイト日数（1ヶ月）	39P
7-3d アルバイトが辛いと思う	40P
7-3e アルバイトの平均収入/月	41P
8-1 自宅外通学者 1ヶ月の生活費	42P
8-2 自宅外通学者 1ヶ月の仕送り額	43P
8-3 自宅通学者 1ヶ月の生活費	44P
8-4 奨学金受給有無	45P
8-5a 奨学金の使途	46P
8-5a 奨学金の受給額	47P
9-1 通学交通手段	48P
9-2a 車・バイク保有状況	49P
9-2b 車・バイク保有開始時期	50P

9-2b 車・バイクの通学使用	51P
9-3 通学時間（片道）	52P
9-4 交通費1ヶ月	53P
10-1 住居	54P
10-2a アパート・下宿の家賃	55P
10-2b アパート・下宿の部屋数	56P
10-2c アパート・下宿の学生 急病への対応	57P
10-3 個人で使用しているもの	58P
11-1 1日食事回数	59P
11-2 朝食 有無	60P
11-3A 昼食（おばせキャンパス）	61P
11-3B 昼食（小倉キャンパス）	62P
11-4 夕食	63P
11-5 A棟カフェテリア利用頻度（おばせCPのみ）	64P
12-1a 睡眠時間	65P
12-1b 学内で過ごす時間	66P
12-2 就寝時刻	67P
12-3 休日の過ごし方	68P
12-4 長期休暇の過ごし方	69P
13-1a 体育祭参加姿勢	71P
13-1b 体育祭不参加理由	72P
13-2a 大学祭参加姿勢	73P
13-2b 大学祭参加の役割	74P
13-2c 大学祭不参加理由	75P
13-3a 新入生宿泊オリエンテーションの感想	76P
13-3b 新入生宿泊オリエンテーション参加後の学生生活意欲	77P
13-3b 新入生宿泊オリエンテーション不参加理由	78P
14-1 自身の就職について	79P
14-2 就職活動における重要な能力・活動などについて	80P
14-3 就職先の勤務希望について	81P
15-1 タバコの喫煙本数（1日）	82P
15-2 タバコの喫煙開始時期	83P
15-3 飲酒	84P
16-1 学生生活総合満足度	85P
17-1 ハラスメントの認知	86P
17-2a 入学後ハラスメントの時期	87P
17-2b ハラスメント 誰から	88P
17-2c ハラスメントの相談者	89P
17-2d ハラスメントの現在の状況	90P
17-2d ハラスメントの今後	91P

## はじめに

### 1. 調査目的

この調査は、本学学生の豊かな学生生活を送るための議論の方向付けをするために、生活の実態を把握する資料を得ることを目的として、アンケートを実施した。

### 2. 調査の対象者

本学に在籍する学部生全員1,487名(平成25年12月1日に在籍する者)

### 3. 調査の時期・実施方法

時期:平成25年12月9日～20日の間

実施方法:各学科・学年のキャリアガイダンス等の必修科目において、調査票を配布し、「学生生活に関するアンケート」の追加設問の形で実施し、回収を行った。

### 4. 調査内容の概要

2007年度に実施した「学生生活アンケート」項目に、若干の修正を加えて調査を実施した。

### 5. 調査票の回収状況

調査票の回収状況は、調査対象者1,487人の内、回答数1,199人、有効回答数1,143件であった。学科・系別の回答数は以下の通りである。

学部・学科・系名	在籍数※1	有効回答数	内女性数	備考
(1) 総合システム工学科機械工学系	197	152	4	旧機械システム工学科含む
(2) 総合システム工学科電気電子工学系	255	209	14	旧電気電子情報工学科含む
(3) 総合システム工学科情報システム系	171	134	13	
(4) 総合システム工学科環境建設系	163	123	29	
(5) デジタルエンジニアリング学科	179	146	11	
工学部 計	965	764	71	
(6) 建築学科	269	194	49	
(7) 情報デザイン学科	253	185	64	
デザイン学部 計	522	379	113	
合計	1,487	1,143	184	

※1在籍数は平成25年12月1日現在

### 6. アンケート集計の視点

前回調査と比較し、学生の生活実態の変化に着目する。

# 学生満足度調査 結果報告資料

## 2014年2月調査

はじめに

この「学生満足度調査」は、副学長・学部長と若手教員を中心に構成された改革検討委員会の提案で、「学生のニーズや満足度の実態を把握することにより、学部の改革、改善策に反映する」ことを趣旨に平成22年度から25年度の4年間実施しました。

また、この調査では「本学に入学して良かったと思えますか」という設問を入れ、学生に本学の大学としての真価を問いました。

今回の調査結果で、4年間の学生満足度の変化を確認することができると思えます。学部、学科、系に関する個々のデータも後の資料編についています。一度ご覧頂き、まずは各学部、学科、系での学生の満足度が高くなるようにするには「何をどのように対策すれば良いか」お考えいただきたいと思えます。

学生満足度の低い大学は生き残れないと思えます。PDCAサイクルで少しでも学生の満足度を上げるため、教職員の皆様の一層のご努力をお願いします。

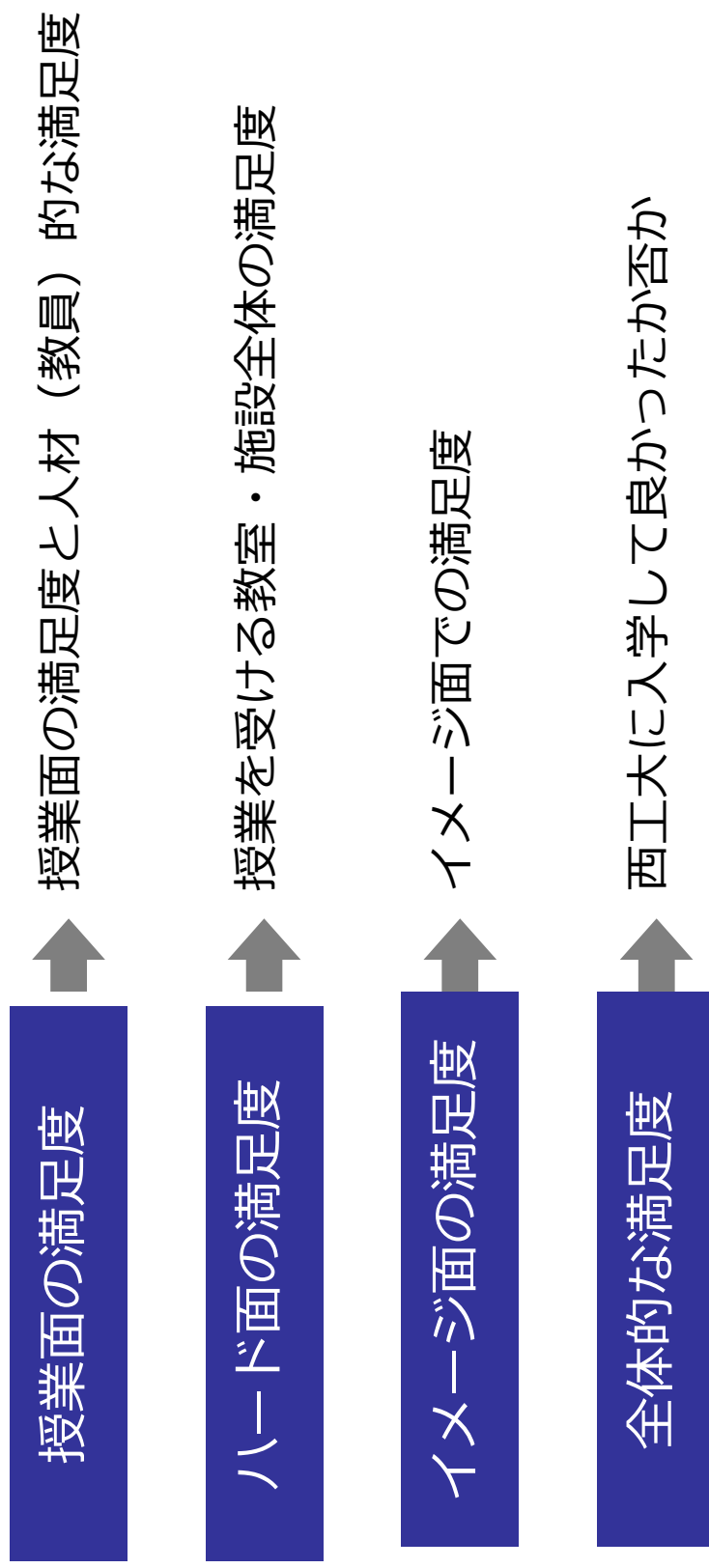
平成26年2月

副学長（改革検討委員会委員長） 平 井 敬 二

学生満足度調査（2014年2月調査）有効回答者数

学部在籍者(人)	学科在籍者(人)	系・コース在籍者(人)	学年	人数(人)	
デザイン学部 336	建築学科 189		1年	61	
			2年	28	
			3年	57	
			4年	43	
	情報D学科 167	情報D学科 134	1年	33	
			2年	28	
			3年	36	
			4年	37	
		キャリアDコース 33	1年	9	
			2年	3	
			3年	6	
			4年	15	
工学部 754	DE学科 135		1年	22	
			2年	39	
			3年	41	
			4年	33	
	総合S工学科 619	環境建設系 135		1年	21
				2年	26
				3年	37
				4年	51
		機械工学系 156		1年	42
				2年	41
				3年	39
				4年	34
	情報システム系 133		1年	32	
			2年	45	
			3年	23	
			4年	33	
	電気工学系 195		1年	55	
			2年	50	
			3年	50	
			4年	40	
合計				1,110	

今回の調査での考察





教員各位  
平成26年1月6日  
改革検討委員会

学生満足度調査実施に伴うお願い

改革検討委員会では、学生のニーズや満足度の実態を把握することを趣旨として、昨年度に引き続き、下記のとおり学生満足度調査を実施いたしますので、学期末でご多忙のところ大変恐縮に存じますが、ご協力いただきますようお願いいたします。

#### 記

##### 1. 実施期間

平成26年1月6日(月)～1月24日(金)

##### 2. 調査実施の対象科目

調査は次の科目等で実施してください。

- 1 年生 キャリアガイダンスⅡ、2年生 キャリアガイダンスⅣ
- 3年生 セミナール(情報デザイン学科については「キャリアガイダンスⅥ」)
- 4年生以上 卒業研究指導及びガイダンス指導

##### 3. 実施方法

上記の科目を利用し、学生満足度調査及び回答紙(OCR用紙)を配付の上、実施してください。

##### 4. 調査終了後は、教務課及びデザイン学部事務室にご提出ください。

1. 学生満足度調査の回答については、OCR用紙を採用しておりますので、その記入については原則として鉛筆及びシャープペンシルで記入するよう周知していただきますようお願いいたします。鉛筆及びシャープペンシルを持っていない学生については、黒のボールペンでも可能です。
2. 回答用紙(OCR)は、機械で直接読み取りますので、数字は丁寧に書くように指示してください。
3. **学履番号の先頭4ケタ(学年・学科を識別します)と性別を必ず記入するよう**に指示してください。
4. **回答欄の数字は、①、②、③のように入力してください。**  
※回答欄の数字に○を付すと、誤読いたしますので、くれぐれも注意を促してください。
5. 学生満足度調査の終了後は、回答用紙と併せて、設問用紙も回収していただきますようお願いいたします。

以上、よろしくお願いいたします。

学生満足度調査の実施について（お願い）

調査の目的

本学では、学生の皆さんがキャンパス生活をより豊かに送れるよう日々、改善を検討しています。その活動の一環として、皆さんの満足度やニーズを把握するため「学生満足度調査」を実施いたします。

つきましては、皆さんの意見をできるだけ正確に、また率直に回答していただきますよう、ご協力をお願いいたします。

なお、この調査は**記入差を特定することはありません。**

また、調査結果については、後日、皆さんに公開する予定です。

【調査方法について】

1. 回答用紙はコンピュータに自動的に読み取るOCR用紙を使用していますので、鉛筆（シャープペンシルを含む）かボールペンで、回答用紙の下部に表示している推奨文字を参考の上、記入欄内に明確に記入してください。
2. 解答用紙には設問の数字だけ記入してください。①②のように数字に丸印を記入してしまうと、OCRで判読できなくなる恐れがあります。

○良い例＝ ×悪い例＝（数字だけを記入してください）

3. 回答用紙の学籍番号記入欄に学籍番号の上4桁を記入してください。

※（例：126001の学籍番号の場合、と記入）

4. 調査の設問ごとに、該当する数字を選択し、回答用紙に記入してください。

※回答には、選択数が1つのもの、または複数（3つまで回答できます）がありまずので注意してください。

以上

西日本工業大学 学生満足度調査 2013年度

1

①授業内容や教養・制作について

1. 大学の授業についての質問です。

あなたは、どんな時に授業を満足だと感じますか？

- （3つまで回答できます。該当しなければ無回答でもかまいません）
- ①先生の説明がわかりやすい
  - ②良い知識が身についた
  - ③自分がレベルアップできた
  - ④授業で学んだことで将来に希望が持てた
  - ⑤有名な人の話を聞いた
  - ⑥大学外部の人と話すことができた
  - ⑦先生や前年の友人に高く評価された
  - ⑧先生に好感が持てた
  - ⑨友達と授業を受けることができ楽しかった

2. あなたは、どんな時に授業を不満だと感じますか？

（3つまで回答できます。該当しなければ無回答でもかまいません）

- ①説明が分かりにくい
- ②授業が難しすぎる
- ③授業内容のレベルが低い
- ④授業内容が古い
- ⑤教科書や資料が分かりにくかったり、授業と関係なかったりする
- ⑥先生が不真面目な学生を注意しない
- ⑦レポートや課題が多すぎる
- ⑧先生のことを苦手
- ⑨苦手な学生と授業を受けなければならぬ

3. あなたは、他学部や他学料の授業を受けてみたいと思いますか？

- ①受けてみたい
- ②どちらかといえば受けたくない
- ③どちらかといえば受けたくない
- ④受けたくない

4. [3]の質問で①もしくは②の答えた方。そう思う理由は何ですか？（3つまで回答できます）

- ①いろいろな分野のことを知りたいから
- ②自分の将来に必要な授業のように感じるから
- ③他学部や他学料に魅力的な先生がいるから
- ④友人や先輩の話を聞いて羨しそうだと思ったから
- ⑤今の学部や学料に物足りなさを感ずるから
- ⑥今の学部や学料では授業についていけないから
- ⑦現在の学部や学料では将来が不安だから

5. あなたが受けている、授業全般が将来の自分の進路に必要な内容になっていると思いますか？

- ①なっていると思う
- ②どちらかといえばそうまっている
- ③どちらかといえばそうっていない
- ④なっていないと思う

6. あなたの今のまでの授業出席率はどれくらいですか？

- ①ほぼ100%
- ②90%くらい
- ③80%くらい
- ④70%くらい
- ⑤60%くらい
- ⑥それ以下

7. あなたは、西工大の授業全般について満足していますか？

- ①満足
- ②どちらかといえば満足
- ③どちらかといえば不満足
- ④不満足

8. あなたが普段授業を受けている先生たちについての質問です。

- あなたは、西工大の先生たちの良いところはどこだと思いますか？（3つまで回答できます）
- ①やさしい
  - ②気風に馴染む
  - ③役に立つ授業をしてくれる
  - ④教職のことを考えてくれる
  - ⑤尊敬できる
  - ⑥悩みや相談を聞いてくれる
  - ⑦あいさつしてくれる
  - ⑧人生経験が豊富
  - ⑨良いところはない

9. 西工大の先生たちの悪いところはどこだと思いますか？（3つまで回答できます）

- ①気風になれない
- ②役に立つ授業をしてくれない
- ③先生同士で仲が悪い
- ④教職のことを考えてくれない
- ⑤若者の気持が理解できない
- ⑥あいさつをしてくれない
- ⑦なかなか会えない
- ⑧公平に評価してくれない
- ⑨悪いところは無い

10. あなたは、西工大の先生とどれくらい話していますか？

- ①よく話す
- ②ときどき話す
- ③あまり話さない
- ④ほとんど話さない
- ⑤話したことがない

西日本工業大学 学生満足度調査 2013年度

2

11. あなたは、西工大の先生たちに満足していますか？  
 ①満足 ②どちらかといえば満足 ③どちらかといえば不満 ④不満
12. 大学の授業についての質問です。あなたは、授業を受けている教室に関して満足していますか？  
 ①満足 ②どちらかといえば満足 ③どちらかといえば不満 ④不満

13. あなたは、いつも教室のどこなところに不満を感じていますか？(3つまで回答できます)  
 ①黒板やプロジェクターが見えにくい ②先生の声が聞こえない ③イスや机が使えない ④温度設定が良くない  
 ⑤天井 ⑥PC(パソコン)のネットワークや電源などの接続が整っていない ⑦教室が暗すぎる ⑧特に不満は感じない

14. 大学内の実験・制作環境についての質問です。  
 あなたは、実験や制作を行う際の大学の(パソコンや装置などの)環境に関して満足していますか？  
 ①満足 ②どちらかといえば満足 ③どちらかといえば不満 ④不満 ⑤利用したことがないのでわからない

15. あなたは、大学の実験・制作環境のどのなところに不満を感じますか？(3つまで回答できます)  
 ①実験や制作を行う場所がない(少ない) ②使用する手続が面倒だ ③利用時間が限られている  
 ④PCのウイルス対策が万全ではない ⑤PC 環境やネットワークや電源などの接続が整っていない  
 ⑥無線 LAN(Wi-Fi)環境の整備が悪い ⑦機械が古い ⑧実験・制作装置がない ⑨特に不満は感じない

⑫大学の施設や設備に関して

16. 西工大の施設や設備についての質問です。  
 大学内であなたが普段よく利用する施設や設備を教えてください。(3つまで回答できます)  
 ①食堂 ②売店(おはせ食堂) ③自動販売機 ④体育館・グラウンド ⑤駐車場・駐輪場  
 ⑥休憩所(おはせ食堂・小倉キャンパス7F ラウンジ等) ⑦図書館(おはせ図書館・小倉メディアライブラリー)  
 ⑧保健室 ⑨クラブ活動部室および活動場所

17. 西工大の施設や設備の中で充実していると思うものを教えてください。  
 (3つまで回答できます。該当しなければ無回答でもかまいません)  
 ①食堂 ②売店(おはせ食堂) ③自動販売機 ④体育館・グラウンド ⑤駐車場・駐輪場  
 ⑥休憩所(おはせ食堂・小倉キャンパス7F ラウンジ等) ⑦図書館(おはせ図書館・小倉メディアライブラリー)  
 ⑧保健室 ⑨クラブ活動部室および活動場所

18. 西工大の施設や設備の中で改善して欲しいと思うものを教えてください。  
 (3つまで回答できます。該当しなければ無回答でもかまいません)  
 ①食堂 ②売店(おはせ食堂) ③自動販売機 ④体育館・グラウンド ⑤駐車場・駐輪場  
 ⑥休憩所(おはせ食堂・小倉キャンパス7F ラウンジ等) ⑦図書館(おはせ図書館・小倉メディアライブラリー)  
 ⑧保健室 ⑨クラブ活動部室および活動場所

19. あなたは、先ほどの質問で記載していた西工大の施設全般に満足していますか？  
 ①満足 ②どちらかといえば満足 ③どちらかといえば不満 ④不満

西日本工業大学 学生満足度調査 2013年度

3

20. 西工大のキャンパスについての質問です。  
 あなたは、大学のキャンパスが駅の近くにあることで便利だと思いますか？  
 ①便利だと思う ②どちらかといえば便利だと思う ③不便だと思う

21. おぼせと小倉のキャンパスが離れていて不便だと思うことはありますか？  
 ①とても不便だと思う ②不便だと思う ③そんなに不便だと思わない ④ほとんど不便だとは思わない ⑤好きではない

22. [21]の質問で、①もしくは②と答えた方に質問です。  
 どのような時、おぼせと小倉のキャンパスが離れていて不便だと思いますか？  
 ①授業での移動 ②サークル・クラブ活動 ③大学祭などの大学行事 ④友人に会う時 ⑤その他

23. あなたがいつも授業を受けている西工大のキャンパスは好きですか？  
 ①好きである ②どちらかといえば好き ③好きでも嫌いでもない ④どちらかといえば好きではない ⑤好きではない

⑬学内の人間関係や、授業以外の活動について

24. 友人についての質問です。あなたは大学の中に友人と呼べる人がいますか？  
 ①1人いる ②2人~4人いる ③5人~7人いる ④10人前後いる ⑤それ以上多数 ⑥全くいない

25. 大学内の友人とは、どのような話をしますか？  
 (3つまで回答できます。該当しなければ無回答でもかまいません)  
 ①遊びの話 ②学校の授業や先生の話 ③サークルの話 ④将来についての話 ⑤就職についての話 ⑥趣味について  
 ⑦悩み事 ⑧アルバイトの話 ⑨友人はいないので話はない

26. 大学の事務職員についての質問です。あなたは事務職員と話す機会が多いと思いますか？  
 \*ここで言う「事務職員」とは、おはせ館本館2階事務室や、小倉キャンパス4階事務室など勤務している職員の事です。  
 ①よく話す ②ときどき話す ③あまり話さない ④ほとんど話さない ⑤話したことがない

27. どのな時に西工大の事務職員に好感を覚えますか？(3つまで回答できます)  
 ①やさしい ②気軽に話せる ③学内のことをいろいろと教えてくれる ④就職のことを考えてくれる ⑤講義できる  
 ⑥悩みや相談を聞いてくれる ⑦あいさつをしてくれる ⑧人生経験が豊富 ⑨あまり話したことがないのでわからない

28. どのな時に、事務職員のことを話さないといいですか？(3つまで回答できます)  
 ①話さない ②冷たい ③敬愛される ④敬愛のことを考えてくれない ⑤親切に出来ない ⑥学内のことを教えてくれない  
 ⑦若者の気持ちが理解できない ⑧公平に振ってくれない ⑨あまり話したことがないのでわからない

29. あなたは、事務職員の対応に満足していますか？  
 ①満足 ②どちらかといえば満足 ③どちらかといえば不満 ④不満 ⑤話したことがないのでわからない

30. 授業以外の活動についての質問です。  
 あなたは大学祭などの学内行事に参加していますか？  
 ①積極的に参加している ②参加している ③友達に誘われると参加する  
 ④過去に参加したことがあるが、今は参加していない ⑤参加したことがない

西日本工業大学 学生満足度調査 2013年度

4

31. あなたは学内外のサークルやクラブ活動、ボランティア活動などに参加していますか？  
 ①二つ以上行なっている ②ひとつだけ行なっている ③過去に行なっていたが、今は行なっていない  
 ④まったく行なっていない
32. あなたはアルバイトをしていますか？  
 ①二つ以上アルバイトをしている ②ひとつだけアルバイトをしている ③アルバイトをしたことはあるが、今はしていない  
 ④今までアルバイトをしたことがない
33. 今までアルバイトをしたことがある方に質問です。あなたがアルバイトをする理由は何ですか？  
 (3 つまで回答できます)  
 ①友達を増やしたいから ②将来のために役立つ仕事だから ③生活費や学費を稼ぐため  
 ④将来の就職活動のための貯金 ⑤資格取得のための貯金 ⑥友人や先輩に頼まれたから ⑦楽しいものを買いたいから

(4)キャリア指導や学費、学生支援サービスについて

34. 就職活動に関する質問です。あなたに現在、就職に対する不安はありますか？  
 ①不安である ②どちらかといえば不安 ③あまり不安を感じない ④不安を感じない
35. あなたは現在、就職活動を行なっていますか？  
 ①行なっている ②どちらかといえば行なっている ③あまり行なっていない ④行なっていない
36. [35]の質問で③もしくは④と答えた方に質問です。あなたが就職活動に積極的にない理由は？  
 ①まだ1年生もしくは2年生だから ②就職が決まったから ③進学したいから ④就職活動の手続きが面倒だから  
 ⑤先生が就職のことを考えてくれたから ⑥あまり先のことは考えていないから ⑦就職できそうにないと思えるから
37. あなたは、キャリアガイダンスが、就職活動や自分の将来に役立つと思いますか？  
 ①役立つと思う ②どちらかといえば役立つと思う ③あまり役立つなと思う ④役立つなと思う ⑤わからない
38. あなたは、普段の先生の指導が、就職活動や自分の将来に役立つと思いますか？  
 ①役立つと思う ②どちらかといえば役立つと思う ③あまり役立つなと思う ④役立つなと思う ⑤わからない
39. あなたは、企業セミナーで出会った企業の人や、就職支援の事務室の人たち(おぼせA棟2F、小倉キャンパス4F)と話をすることが、就職活動や自分の将来に役立つと思いますか？  
 ①役立つと思う ②どちらかといえば役立つと思う ③あまり役立つなと思う ④役立つなと思う ⑤わからない
40. 学内用のホームページサービスについての質問です。あなたが学内のホームページサービスで良く使う機能はどれですか？(3 つまで回答できます)  
 ①履修登録や成績確認 ②アルバイト情報 ③就職情報 ④Eメール ⑤英語講座や moodle の e-ラーニング
41. あなたが普段よく使っているメールはどれですか？(2 つまで回答できます)  
 ①従来の携帯電話のメール ②スマートフォン用のメール  
 ③西工大のメール(@nitech.ac.jpと記載されているメール) ④パソコンのメール(フリーメール含む) ⑤使用しない

西日本工業大学 学生満足度調査 2013年度

5

42. 学費についての質問です。あなたが納付している学費に関してどう思いますか？  
 ①安いと思う ②どちらかといえば安い ③ちょうどいいと思う ④どちらかといえば高い ⑤高いと思う ⑥わからない
43. あなたは現在、奨学金や特待生制度を受けていますか？(該当するものすべてにチェック)  
 ①スポーツ有能者特別奨学生を受けている(もしくは受けていた)  
 ②特別奨学生(授業料全額免除)を受けている(もしくは受けていた)  
 ③奨学生(授業料半額免除)を受けている(もしくは受けていた)  
 ④学業奨生を受けている(もしくは受けていた)  
 ⑤西工大以外の奨学金制度(日本学生支援機構・地方公共団体など)を受けている(もしくは受けていた)  
 ⑥奨学金制度を受けていない

(5)自分の成長、大学のイメージについて

44. あなたは現在、西工大はどんな大学だと思いますか？(3 つまで回答できます)  
 ①周囲の人からの評判がいい ②活気がある ③校風や雰囲気がいい ④学校が発展していくイメージがある  
 ⑤周囲の人からの評判が悪い ⑥活気がない ⑦校風や雰囲気が悪い ⑧学校が停滞していくイメージがない  
 ⑨奨学金制度を受けていない
45. 現在、あなたのキャンパスライフの中で、いちばん充実していると思うことはなんですか？  
 ①大学の授業 ②研究や制作活動 ③サークルやクラブ・ボランティア活動 ④大学祭などの大学行事 ⑤友人関係  
 ⑥趣味 ⑦アルバイト ⑧充実しているものはない
46. あなたが西工大の良さ(魅力)を感じるのとはどんなところですか？  
 (3 つまで回答できます)  
 ①西日本工業大学という名前 ②NTT という名称 ③大学のロゴマーク ④キャンパス ⑤大学の伝統 ⑥先生  
 ⑦友人や先輩関係 ⑧サークル ⑨授業内容や研究・制作活動
47. あなたが入学する前と、実際に入学した後の大学の印象はどう変わりましたか？  
 ①良くなった ②どちらかといえば良くなった ③変わらない ④どちらかといえば悪くなった ⑤悪くなった  
 ⑥感じる ⑦たまに感じる ⑧どちらでもない ⑨あまり感じない ⑩感じない
48. 西工大に入學してきて、自分が成長したと感じることがありますか？  
 ①感じる ②たまに感じる ③どちらでもない ④あまり感じない ⑤感じない
49. 自分が成長したと感じるのはどんな時ですか？(3 つまで回答可。該当しない場合は無回答で)  
 ①先生の話を聞いて理解や感心した時 ②課題や研究を完成させた時 ③資格や大学外の試験に合格した時  
 ④ゼミやプロジェクトで研究や制作を行なった時 ⑤サークル活動で結果を残した時  
 ⑥大学祭や体育祭などの学内イベントに参加した時 ⑦ボランティア活動などをしていて ⑧アルバイトをしている時  
 ⑨人間関係を広かった時
50. あなたは西工大の話題を、どんな人と話したことがありますか？(3 つまで回答可)  
 ①西工大の先生 ②大学の友人 ③学外の友人 ④大学内の先輩や先輩 ⑤高校・中学の同級生や先輩  
 ⑥高校・中学時代の先生 ⑦親や兄弟・親戚 ⑧アルバイト先の知人 ⑨その他
51. 最後の質問です。あなたは西工大に入學して良かったと思いますか？  
 ①良かったと思う ②どちらかといえば良かったと思う ③どちらかといえば後悔している ④後悔している

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

学習実態アンケート2013調査結果

西日本工業大学 FD委員会

平成26年5月

## 【 目 次 】

0.	はじめに	1P
3-1	授業時間外の予習・復習	2P
3-2	授業時間外の1日学修時間平均	3P
3-3	授業時間外の学修場所	5P
3-4	授業への出席状況	7P
3-5	授業の出席意識	8P
3-6	授業欠席の意識	9P
3-7	授業欠席の理由	10P
3-8	スポーツ部活動授業欠席への要望	11P
3-9	授業内容を理解できる科目割合	12P
3-10	授業への出席態度	13P
3-11	レポート・宿題での情報源	14P
3-12	授業において理解できない対応	15P
3-13	授業時間外に教員へ質問しない理由	16P
3-14	指定教科書購入について	17P
3-15	指定教科書を購入しない理由	18P
3-16	1年間単行本購読（専門外）数	19P
3-17	学習のためのインターネット利用（1日平均）	20P
3-18	学習以外のインターネット利用（1日平均）	21P
3-19	シラバスの授業予習・復習に役立てている	22P
3-20	定期試験の1科目試験勉強時間平均	23P
3-21	夏季休暇中の過ごし方	24P
3-22	夏季休暇中に集中講義以外に学修した時間合計	25P
3-23	自費で参加している講座（学外）	26P
4-1	図書館等の利用頻度	27P
4-2	図書館等の利用目的	28P
4-3	図書館等を利用しない理由	29P
B-1	授業内容を理解できる割合と授業出席率との関係	30P
B-2	授業内容を理解できる割合と授業以外の学修の実施	30P
B-3	授業内容を理解できる割合と授業でわかりにくく対応	31P
B-4	授業内容を理解できる割合と図書館等利用状況	31P
B-5	授業内容を理解できる割合と学習のためのインターネット利用時間（1日）	32P
B-6	授業内容を理解できる割合と学習以外のインターネット利用時間（1日）	32P
B-7	授業内容を理解できる割合とアルバイト理由	33P
B-8	授業内容を理解できる割合とアルバイト日数	33P
B-9	授業内容を理解できる割合と就職方針	34P
B-10	授業内容を理解できる割合と学生生活満足度	34P

## はじめに

### 1. 調査目的

この調査は、本学学生の学修意識、学習に関する実態を把握し、今後の改善方策の検討に資する基礎資料を得ることを目的として、学生生活に関するアンケートの中で実施した。

### 2. 調査の対象者

本学に在籍する学部生全員1,487名(平成25年12月1日に在籍する者)

### 3. 調査の時期・実施方法

時期:平成25年12月9日～20日の間

実施方法:各学科・学年のキャリアガイダンス等の必修科目において、調査票を配布し、「学生生活に関するアンケート」の追加設問の形で実施し、回収を行った。

### 4. 調査内容の概要

本学では今まで実施しなかった学習時間調査や、学修への意識などの実態を把握する目的で作成したなお設問項目は23問である。

### 5. 調査票の回収状況

調査票の回収状況は、調査対象者1,487人の内、回答数1,199人、有効回答数1,143件であった。学科・系別の回答数は以下の通りである。

学部・学科・系名	在籍数※	有効回答数	内女性数	備考
(1) 総合システム工学科機械工学系	197	152	4	旧機械システム工学科含む
(2) 総合システム工学科電気電子工学系	255	209	14	旧電気電子情報工学科含む
(3) 総合システム工学科情報システム系	171	134	13	
(4) 総合システム工学科環境建設系	163	123	29	
(5) デジタルエンジニアリング学科	179	146	11	
工学部 計	965	764	71	
(6) 建築学科	269	194	49	
(7) 情報デザイン学科	253	185	64	
デザイン学部 計	522	379	113	
合計	1,487	1,143	184	

※1在籍数は平成25年12月1日現在

### 6. アンケート集計の視点

今回は、本学にとって初めての学修実態調査であり、比較するものがないため、学科・系別及び課外活動別に集計を実施する。